

第6回永平寺町学校のあり方検討委員会 要点録

(2021年12月13日作成)

1	会議の名称	第6回永平寺町学校のあり方検討委員会		
2	会議の開催日時	2021(令和3)年11月26日(金) 午後7時～8時50分		
3	会議の開催場所	永平寺開発センター	公開の可否	○可・一部不可・不可
4	事務局(担当課)	学校教育課	傍聴者数	4名
5	非公開の理由 (非公開(会議の一部非公開を含む。)の場合)	/		
6	協議事項	1 答申(案)について		
7	配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 「永平寺町内小中学校のこれからのあり方について」答申(案) ● 平成28年度「福井型コミュニティ・スクール推進事業」実施要項 		
8	審議等の内容	別紙のとおり		

第6回永平寺町学校のあり方検討委員会 要点録

(2021(令和3)年 11 月 26 日(金)開催)

開会

事務局

定刻になりましたので、第6回永平寺町学校のあり方検討委員会を開催します。
会議に先立ちまして、町民指標のご唱和をお願いいたします。

(町民指標唱和)

事務局

それでは、委員長よりごあいさつをお願いいたします。

委員長

(あいさつ)

事務局

本日の委員会につきましては、24名の委員のうち15名の委員が出席しており、本委員会が成立していることを報告します。

では、この後の議事進行は、委員長よりお願いいたします。

委員長

それでは議題に入らせていただきます。

協議事項 1 答申(案)について

委員長

前回の委員会での議論を踏まえ、答申(案)を修正しました。
修正箇所について、説明をお願いしたいと思います。

事務局

(答申(案)の修正箇所を説明)

委員長

それでは、答申(案)について、ぜひ委員の皆様からのご意見を伺いたいと思います。どんなことでも結構です。いかがでしょうか。

委員

答申(案)の20ページの「県内外の事例からは、学校の再編によって、・・・」について、学校の再編だけでなく、地域とともに学校づくりに取り組んだことによる成果だと思います。

また、同じページに記載されている、「学校がその目的を達成するためには、・・・」について、永平寺町では既に「家庭・地域・学校協議会」が設置されています。この協議会を通じて、家庭、学校、地域と一緒に学校づくりに取り組んでいますので、そのことを答申に記載して欲しいです。

18 ページに志比北小学校の生徒数について「すべての学年が 10 名未満となります。」という記載がありますが、令和 3 年時点で 10 名未満となっていますので、文言の修正をお願いしたいです。

委員長

ご指摘の通りだと思います。副委員長はご指摘をどのように捉えられましたか。

副委員長

的確なご指摘だと思います。特に、家庭・地域・学校協議会に関するご指摘を答申に反映したいと思います。

委員長

本日はコミュニティ・スクールに関する最新の動向を記載した資料を用意しております。事務局より説明をお願いします。

事務局

(福井型コミュニティ・スクール推進事業を説明)

委員長

地域の人と交流し、友人たちと議論しながら地域の課題を探って解決を図るところがコミュニティ・スクールのポイントです。これは教科書を通じた学習だけでは学ぶことができません。

永平寺町では、既にコミュニティ・スクールが実践されていますので、そのようなことも加味していこうと思います。既存の取組を活かしながら地域全体でつながっていける教育環境の方向性をしめせたら良いと思っています。

続きまして、志比北振興会からも答申修正のご意見をいただいておりますので、説明をお願いしたいと思います。

委員

18 ページから 19 ページにかけて、望ましい環境に関する各小・中学校の今後の予想が記載されています。本日の案では、小学校の予想と提言、中学校の予想と提言という流れになっています。記載方法について、小学校と中学校の予想、小学校と中学校の提言という流れの方が読みやすいと思いますので、章立て修正の検討をお願いします。

また、20 ページに地域と連携した学校づくりのあり方についてという項目があります。こちらは、①にポイント、②に提言、③にコーディネーターの配置という流れになっています。この流れについて、どのように運営していくのか。地域の人々・保護者の支援組織、受け皿をつくり、コーディネーターを配置し、支援する人材育成という流れだと、取組に関わる人たちにとってもわかりやすいと思います。

委員長

大きく分けて、2 つのご意見をいただいたと思います。ご意見について、副委員長はどうお考えでしょうか。

副委員長

小・中学校によって状況が異なるため、現在の答申では丁寧に分けて記載していますが、ご指摘の通り、まとめた方が読みやすいというのも事実だと思います。

委員長

いかがでしょうか。うなずいている委員が多いようです。

先ほどのご意見にもありましたが、ストーリー性があるとわかりやすいと思いますので、事務局には構成を直す方向で検討をお願いします。

どんな受け皿が必要か考えると、ゼロからつくるのではなく、既に 20 年間地域で受け皿として実績のある協議会を活かし、永平寺町全体がつながってけると良いと思います。そのうえで、地域コーディネーターの実績を踏まえつつ、コーディネーター同士のつながりづくりや育成に取り組むことがこれからの課題です。

副委員長

既存の組織を更新することになりますので、答申に記載する際は「バージョンアップ、再編成、再構築」等の表現が適当だと思います。

委員長

家庭・地域・学校協議会に関わっている委員からもご意見をいただきたいのですが、いかがでしょうか。

委員

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で十分な活動ができませんでしたが、以前は地域をはじめとした様々な方々からのご支援をいただき、活動をしていました。

城山の活性化に向けて、子どもたちから意見をもらいながら、地域の方にバックアップしていただいて看板やベンチの更新に取り組みました。卒業していった子どもたちの下の学年の子どもたちが看板やベンチを見て、過去の取組を知るといような新しいつながりができています。

委員

それぞれの学校ごとに協議会があり、学校によって異なる地域コーディネーターのお世話になっていますが、中学生になると、子どもたちの学習課題の専門性が高くなり、地域コーディネーターだけでは十分な支援をすることが困難になります。中学 1 年生が永平寺町、中学 2 年生が福井県の魅力の PR に取り組んだ際、役場各課や県の広報担当課にお世話になりました。

現在は主に学年主任が手配をしていますが、町にも行政の部署を越えた調整ができるコーディネーターがいると有難いです。ふるさと教育を推進するうえで重要な人材だと思います。

また、小学校では学校同士の交流が進められていますが、そういう取組の拡大版ができると良いと思います。

委員長

子どもたちの学びが一番大事です。そして、子どもたちとともに、先生、保護者、地域が学べる環境づくりを進める必要があります。それぞれの地域コーディネーターで完結するのではなく、コーディネーター同士をつないだり、育成したりすることで活動が広がっていくと思います。

委員

提言の文章中、国民の4割が非正規雇用者となっている中で果たして豊かな社会だと言えるのでしょうか。AIの発達についても、ロボットの導入は技術労働者を安い賃金に追いやっています。

また、社会が求める人間づくりとありますが、自分をきちんと表現できる生きる力を持つ子どもが求められていると思います。

8ページの統廃合についてですが、小さな地域のことを町全体の多数決で決めるのは良くないと思います。学校の統廃合は地域の存亡に関わります。幼稚園の統廃合は答申をもとに進められています。今回の答申が学校統廃合の口実になってはいけません。

学校と地域の連携については、行政の役割を位置づけないと、地域の負担が大きくなります。

委員長

人によって社会に対する考え方は異なります。

これまで何回も確認してきましたが、今回の答申は永平寺町の子どもたちにとって望ましいことについての答申であり、まちづくり全般についての答申ではありません。あくまで、学校のあり方ということに焦点を当てています。

自分をきちんと表現できる能力が大事だということについては、その通りだと思います。

行政の役割を明確にするということについても、専任の人を配置することを踏み込んで書く必要があるかと思います。

何度も申し上げますが、今回の答申は永平寺町のすべての課題に対応しているものではありません。このような理解で進めてきたのですが、事務局の意図はどうでしょうか。

事務局

将来の教育のあり方に関する諮問に対する答申のための検討だと理解しています。

委員長

8ページの統廃合についての文言は、アンケートを反映したものです。これを反映しないということは、民意に対して失礼なことだと思います。統廃合ありきとか、しなくてはならないという表現ではありません。

副委員長

格差やAIについても、裏では文章を作っていたのですが、すべてを盛り込むと大変なボリュームになるため、現在の記載となっています。

ご指摘の通り、格差はウェルビーイングの逆のイルとして存在しています。ですが、イルをすべて取り上げることはできません。いただいたご指摘を踏まえて、検討したいと思います。

委員長

せっかくですので、一人ひとりから意見や感想をいただきたいのですが、よろしいでしょうか。

委員

5 ページの時系列について、アンケート調査の時期は第3回委員会と第4回委員会の間になると思います。

18 ページの志比北小学校では「至急、近隣小学校との再編協議が必要と考えます。」、19 ページの上志比中学校では「近隣の中学校との再編を至急、検討すべきであると考えます。」と表現が異なっているので、統一した方が良いと思います。

事務局

記載を調整します。

委員

今回の福井型コミュニティスクールの資料はわかりやすいと思います。今後、学校教育のあり方を考えないといけない人にとって、必要な情報が網羅されていると感じました。

委員長

今回示した追加資料に個人名等の記載がありますので、答申への掲載方法の調整を事務局にお願いしたいと思います。

委員

答申に学校現場の想いが反映されていると思います。

委員

これからの世の中は不透明で、先が見えないと思います。子どもたちには、世の中を生き抜く力を身に付けてほしいと思います。そして、そのために我々ができることを取り組んでいく必要があります。その内容が答申に書かれていますので、我々も想いを1つにしなから、引き続き議論していきたいと思います。

委員

素晴らしい内容にまとまっていると思います。アンケートの回収率も高く、しっかり議論して答申を作ったと言えます。

地域と学校の結びつきが大切ですが、その結びつきが子どもたちの学習環境にとって良いものなのかしっかりと考えていきたいです。

委員

地域では答申に納得できないという意見もあります。保護者としては学校の存続を望むという意見もあり、答申に納得できる部分と納得できない部分があります。実際にこれを進めていくにあたっては、保護者や地域と協議する場をもって欲しいです。

委員長

答申をつくって終わりということではなく、答申をもとにこれから議論して考えていくという次のステージがあると考えています。子ども達を主人公に今後しっかりと議論し、取り組んでいく必要があります。

委員

最初はコーディネーターの配置についてよくわかりませんでした。本日の資料を見てイメージができました。ぜひ資料を答申に添付してほしいです。

委員

20 ページの「社会性やコミュニケーション能力が高まった」というところを大事にしていきたいと思います。

コミュニケーション能力は人とのつながりの中で育まれるため、地域の人とのつながりの中でウェルビーイングを実感してほしいです。

副委員長

個人と社会のウェルビーイングはつながっています。1つひとつをより良くしていくというビジョンを作ることができると思います。

委員

このように深い議論がされており、この町の子どもたちは幸せだと思います。

子ども、学校、地域の連携について、今後に期待できると思いました。

20 ページの記載について、御陵小学校でも社協、教員、校長、教頭、地域コーディネーターがミッションをつくり、子どもたちと深いところに関わりながら疑問を解決させるという大きな地域づくりを進めています。

今実施している取組の1つひとつが大きなビジョンにつながっていると確信しました。

委員

吉野小学校の児童数は一時盛り返したものの、減少しています。30年前から統廃合の話が出ていました。学校の統廃合は地域の存亡に関わるため、敏感になっています。

学校の統廃合は心痛むことであり、答申に個々の学校の評価を記載してよいのかと思います。学校間の交流ができる環境を整備する必要があります。

ウィズコロナで、人数が多いことにも課題があると思います。

委員

AI 等だけでは駄目で、心が入ったものでなければならないということがわかりました。子どもがどうやって伸びていくと良いかを一番に考えてほしいです。永平寺町の子どもたちが、本当に大切なものを忘れないで伸びて行ってほしいです。

委員

9ページについて、子どもの人数だけで結論を出すのではなくということを強調してほしいです。地域の団体が学校を巻き込むような事業への支援についても入れてほしいです。

委員長

国も人数の基準を出していますが、「地域の状況を考慮して」としており、人数だけで決めることはしてはいけないということが大前提です。補助金については、答申を踏まえた次のステージに期待したいと思います。

委員

答申案に関しては、大変、感動しています。

先生方にお願いだが、高校入試でも自分の考えを問うようになっていますが、子どもたちの表現する能力が乏しいと感じています。国語力の強化について、さらなる尽力が必要です。

委員長

表現する能力が重要だと思います。

副委員長

勉強は科目で切り取られがちです。これからはコミュニケーションを通じて問題解決を図ることが必要とされます。そのことに対応できるカリキュラムをどれだけデザインできるかが問われています。

その他

委員長

最後に、その他として事務局からお願いします。

事務局

特に大きな修正がなければ、今回で審議を終え、修正について委員長に確認いただき、答申を完成させたいと思います。修正については、いかがでしょうか。

委員

学校の統廃合について、記載を検討する必要があると思います。

委員

私は納得しましたが、納得していない方もいます。

答申の内容を今から大きく変えないのであれば、修正した答申を送ってもらえばいいと思います。

委員長

文言の調整はあっても、これまで議論した流れを大きくひっくり返すことはないと思います。

委員

大きく変更しないのなら、修正した答申をいただくということで良いと思います。

委員長

うなずいている人も多いので、本日の意見を踏まえて答申を修正し、郵送するという形で進めたいと思います。

何度も申し上げているように、答申を作って終わりではありません。答申をもとに議論し、取組を進めていくという次のステージにつなげていきたいと思います。

これにて、本日の委員会を終了します。

本日は貴重な意見をいただき、有難うございました。

<閉会>